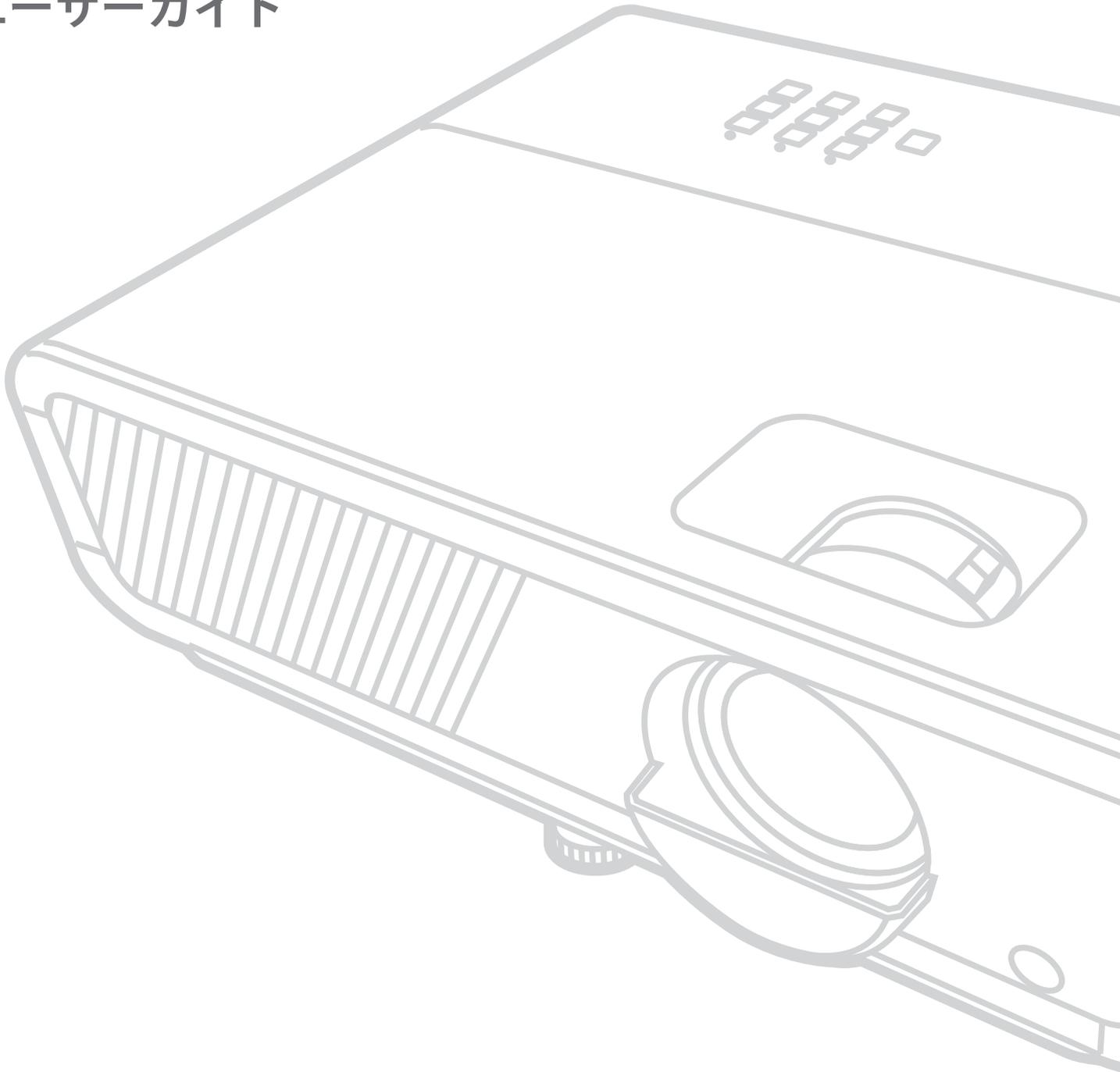


PX749-4K

ゲーミング&ホームプロジェクター ユーザーガイド



モデル番号 VS19349
型番：PX749-4K

**ViewSonic®をお選びいただき、
ありがとうございます。**

安全上のご注意

本機をご使用になる前に、以下の**安全上のご注意**をお読みください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- 換気を妨げないよう、プロジェクターの周囲、最低 50cm は、清潔な状態を保ってください。
- プロジェクターは風通しの良い場所に置いてください。また、プロジェクターの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- プロジェクターを傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- 操作中はプロジェクターレンズを直視しないでください。強烈な光線により目を傷めることがあります。
- プロジェクターのランプが点灯しているときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- プロジェクターの動作中は、投影レンズを物で塞がないでください。物が加熱されて変形したり、火災の原因となる可能性があります。
- 動作中はランプが非常に高温になります。交換のためにランプアセンブリを取り外す前に、プロジェクターを約 45 分間冷却してください。
- 定格ランプ寿命を超えてランプを使用しないでください。定格寿命を超えて過度に使用すると、まれにランプが破損する可能性があります。
- プロジェクターの電源プラグを抜かない限り、ランプまたは電子部品を交換しないでください。
- プロジェクターを分解しないでください。内部に危険な高電圧があり、通電箇所に触れると、死亡する可能性があります。
- プロジェクターを移動させる際は、落としたり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- プロジェクターまたは接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- プロジェクターを垂直に立てないでください。そうすることで、プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- プロジェクターは直射日光の当たる場所に置かないでください。ラジエーター、ヒートレジスタ、ストーブ、またはプロジェクターの温度を危険なレベルまで上昇させる可能性のあるその他の装置(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。

- プロジェクターの近くまたは上に液体を置かないでください。プロジェクター内に液体がこぼれた場合、故障する可能性があります。プロジェクターが濡れた場合は、電源から外し、ViewSonic® カスタマーサポートセンターに電話して、プロジェクターの修理を依頼してください。
- プロジェクターが動作しているとき、換気グリルから熱気や臭いを感じることがあります。これは正常な動作であり、故障ではありません。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用ブレードは、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。プロジェクターから突出した電源コード部分は、特に注意してください。
- 国によっては、電圧が安定していません。このプロジェクターは、AC100～240Vの電圧範囲で安全に動作するように設計されていますが、停電または±10Vのサージが発生すると故障することがあります。電圧が変動したり、遮断される可能性がある場所では、電源安定装置、サージ保護装置、または無停電電源装置(UPS)を介してプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちにプロジェクターの電源を切り、販売店または ViewSonic® カスタマーサポートセンターにご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 付属品/アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 本製品は、24 時間連続使用を前提として設計されておりません。部品の消耗を加速させる原因や帯電による不具合の原因となりますので、24 時間連続でのご利用は避けてください。連続使用は1 日最大約8 時間が推奨となります。
- 製品の修理は、ViewSonic® カスタマーサポートセンターにご依頼ください。



注意事項： 本機はIEC 62471-5:2015(RG2)に分類されている光源を投射します、他の明るい光源と同様に投写光を覗かないでください。

安全上のご注意 - 天井取り付け

このプロジェクターをお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をよくお読みください。

プロジェクターを天井に取り付ける場合は、耐荷重はプロジェクター本体の3kg以上、M4規格ネジに対応している天井取り付けキットを使用し、しっかりと安全に取り付けられていることを確認することを強くお勧めします。

不適切なプロジェクター天井取り付けキットを使用すると、間違ったゲージや長さのネジを使用することによる不適切な取り付けにより、プロジェクターが天井から落下する可能性があります。

プロジェクターを購入した場所からプロジェクター天井取り付けキットを購入できます。

目次

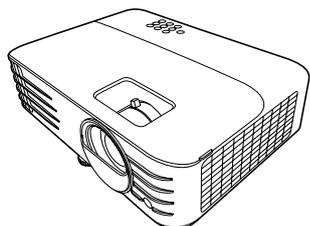
安全上のご注意	3
はじめに	9
梱包内容	9
概要	10
プロジェクター	10
制御装置および機能.....	10
接続ポート	11
リモコン.....	12
制御装置および機能.....	12
リモコンの有効範囲.....	13
リモコンの電池の交換.....	13
初期設定	14
設置場所の選択 - 投影方向	14
投写サイズ	15
16:9 スクリーンの 16:9 画像.....	15
4:3 スクリーンの 16:9 画像.....	16
プロジェクターの取り付け	17
不正使用の防止	18
セキュリティスロットの使い方	18
パスワード機能を使う	19
パスワードの設定.....	19
パスワードの変更.....	20
パスワード機能を無効にする	20
パスワードを忘れた場合	21
パスワード呼び出し手順.....	21
コントロールキーをロックする	22

接続	23
電源に繋ぐ.....	23
外付け機器への接続.....	24
HDMI 接続.....	24
USB Type-C 接続.....	24
オーディオ接続.....	24
プロジェクターの使用方法	25
プロジェクターの電源をオン/オフにする.....	25
プロジェクターの起動.....	25
初めて起動する場合.....	25
プロジェクターをシャットダウンする.....	26
入力ソースの選択.....	27
投写画像の調整.....	28
高さと投写角度の調整.....	28
画像サイズと明瞭さの微調整.....	28
台形補正.....	29
4 隅の調整.....	30
画像を非表示にする.....	30
LAN 環境でプロジェクターを操作する.....	31
LAN 制御設定の構成.....	31
OSD メニュー機能	33
一般的な OSD メニューの操作.....	33
OSD メニュー構成.....	34
表示メニュー.....	39
画像メニュー.....	42
電源管理メニュー.....	45
基本設定メニュー.....	47
詳細設定メニュー.....	50
システムメニュー.....	54
インフォメーションメニュー.....	56

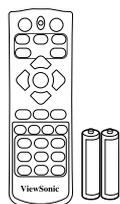
付録	57
仕様.....	57
本機サイズ.....	58
タイミングチャート.....	58
トラブルシューティング.....	60
一般的な問題.....	60
LED インジケーター.....	61
メンテナンス.....	62
全般的な注意.....	62
レンズのお手入れ.....	62
ケースのお手入れ.....	62
プロジェクターの保管.....	62
おことわり.....	62
光源について.....	63
光源時間.....	63
光源の寿命を延長するには.....	63
光源交換タイミング.....	64
光源の交換.....	64
規制および保証情報	65
コンプライアンス情報.....	65
FCC 準拠宣言.....	65
カナダ産業省の声明.....	65
ヨーロッパ諸国における CE 準拠.....	65
RoHS2 準拠宣言.....	66
著作権情報.....	67
カスタマーサービス.....	68

はじめに

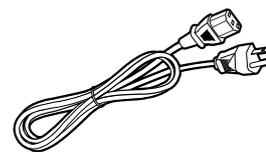
梱包内容



PX749-4K プロジェクター本体



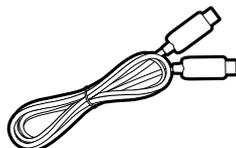
リモコン



電源コード



クイックスタートガイド



USB Type-C ケーブル

ViewSonic

保証書

製品名	
製造番号	
購入日	年 月 日
お名前	
ご住所	
電話番号	
販売店	ViewSonic International Amazon ストア

● 本保証書は、本書裏面の記載が前提に基づき、以下の情報が提供可能とさせていただきます。
※ 本保証書は、本書裏面の記載が前提に基づき、以下の情報が提供可能とさせていただきます。
● プロジェクターご購入日から1年間
● プロジェクターの筐体部分については、ご購入日から6か月。または発光時間500時間のどちらか早い方となります。(LEDプロジェクターを除く)
詳しくは、本書裏面のQRコードをスキャンし、Amazon Webサイトへアクセスし、ViewSonic Internationalへお問い合わせください。
● 保証期間内に故障が発生した場合は、本書裏面のQRコードをスキャンし、弊社カスタマーサポートセンターまでご連絡。本保証書が有効な上、製造を弊社カスタマーサポートセンターまでご連絡下さい。また、保証期間中でも修理料をとおささせていただきます。
● 製品の操作方法、保証期間終了後の修理費、その他のアフターサービスについてのお問い合わせは本書裏面の弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

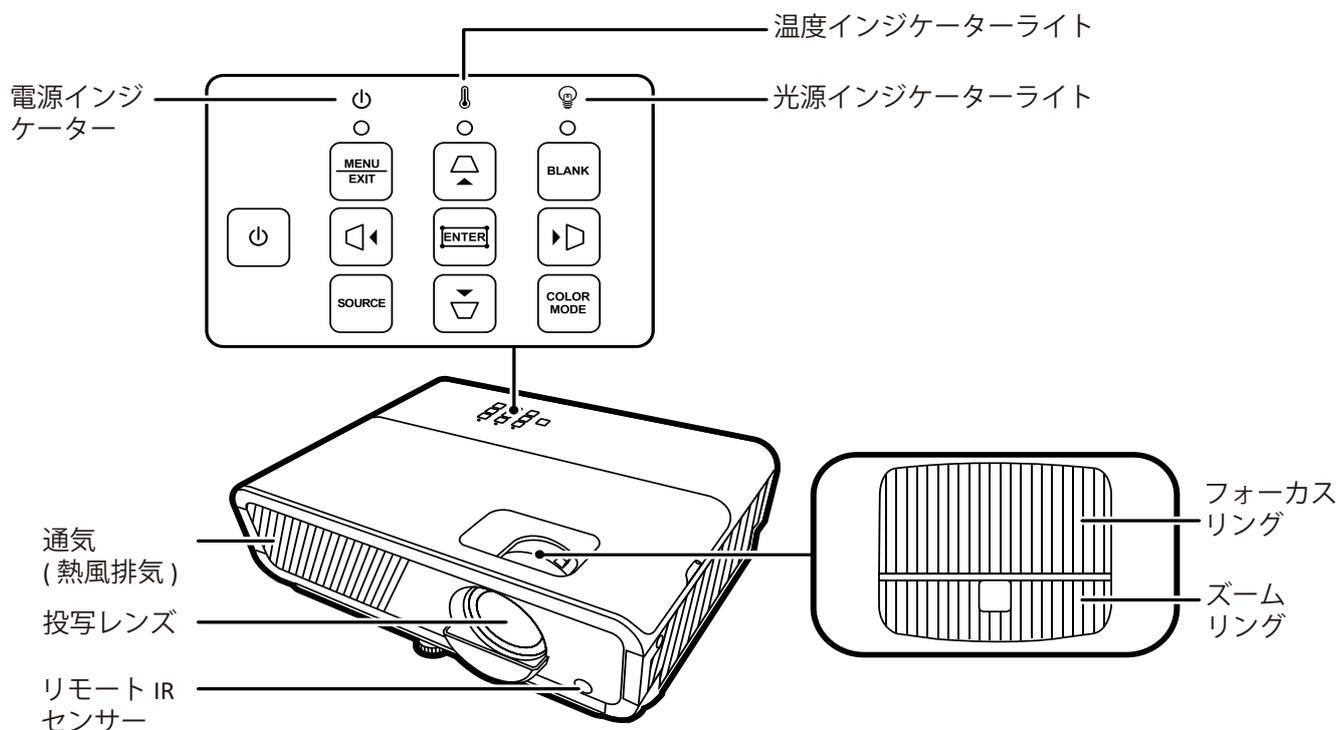
保証書

注意事項： 同梱されている電源コードおよびビデオケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については ViewSonic® カスタマーサポートセンターまでお問合せください。

概要

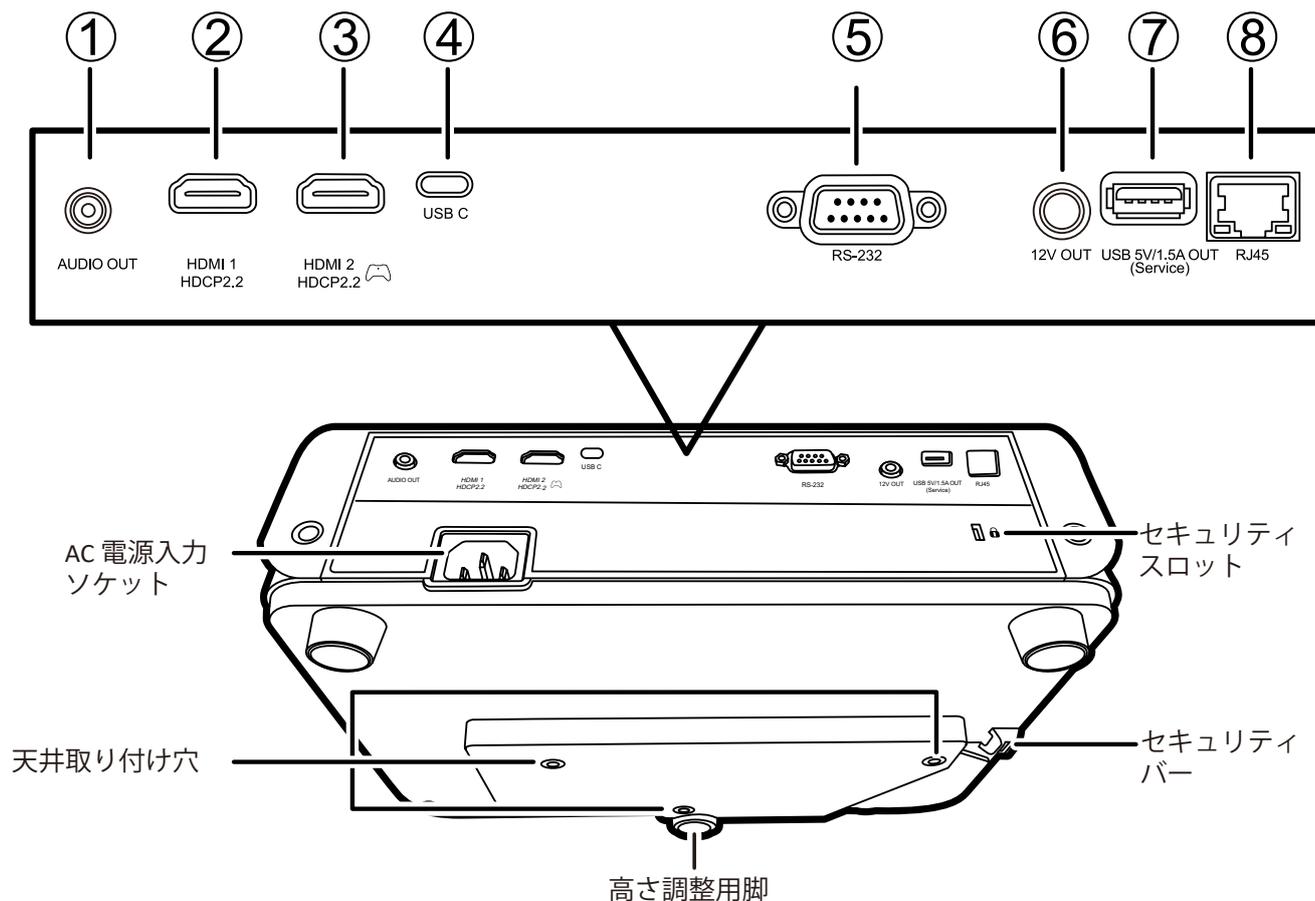
プロジェクター

制御装置および機能



キー	説明
[] 電源	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
[] 台形補正	投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
[] 左/右/上/下	OSD メインメニューが表示されている場合、メニューのオプションを選択し、調整を行うことができます
Menu/Exit	OSD メインメニューを表示/非表示にします。
Source	入力源選択メニューを表示します。
Blank	投影画像を非表示にします。
Enter	OSD メインメニューが表示されている場合、選択した OSD メニューアイテムを有効にします。
[] 四隅の調整	四隅の調整メニューを表示します。
Color Mode	カラーモード選択メニューを表示します。

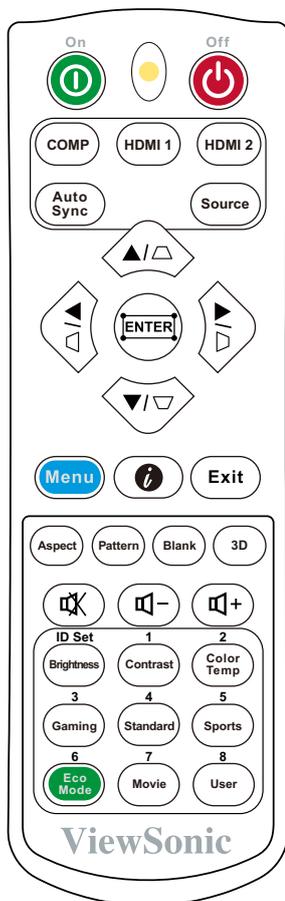
接続ポート



ポート	説明
[1] AUDIO OUT	オーディオ信号出力ステレオミニジャック。
[2] HDMI 1	HDMI 2.0 ポート。
[3] HDMI 2	HDMI 2.0 ポート。
[4] USB C	USB Type-C ポート。
[5] RS-232	RS-232 制御ポート。
[6] 12V OUT	12V DC トリガー出力端子。
[7] USB 5V/1.5A OUT (Service)	5V/1.5A 電源出力 USB Type A ポート。
[8] RJ45	LAN ポート。

リモコン

制御装置および機能



ボタン	説明
① On/Off	スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
COMP	使用不可。
HDMI 1	入力ソースを HDMI 1 ポートから選択します。
HDMI 2	入力ソースを HDMI 2 ポートから選択します。
Auto Sync	機能はありません。
Source	ソース選択メニューを表示します。
[◁/▷/◂/▸] 台形補正	投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
Enter	選択した OSD メニューアイテムを有効にします。
⌘ (四隅の調整)	四隅の調整メニューを表示します。

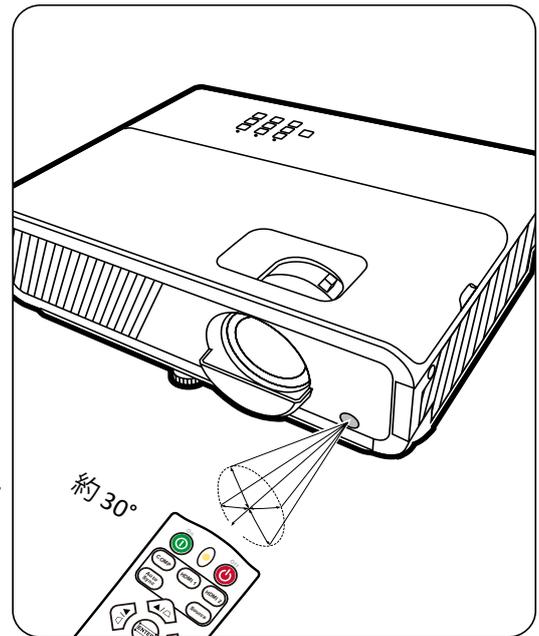
ボタン	説明
◀左/▶右 ▲上/▼下	メニューアイテムを選択し、調整を行います。
Menu	OSD メニューをオン/オフにします。または、前の OSD メニューに戻ります。
ⓘ (インフォメーション)	インフォメーション メニューを表示します。
Exit	メニュー設定を保存して終了します。
Aspect	縦横比選択バーを表示します。
Pattern	埋め込みテストパターンを表示します。
Blank	スクリーンの画像を非表示にします。
3D	3D メニューを表示します。 注: 一部のモデルでのみ使用可能です。
🔊+ (音量を上げる)	音量を上げます。
🔊- (音量を下げる)	音量を下げます。
🔊 (ミュート)	本機の音声のオン/オフを切り替えます。
Brightness	輝度調整バーを表示します。
Contrast	コントラスト調整バーを表示します。
Color Temp	色温度選択メニューを表示します。
Gaming	ゲーム モードを選択します。
Standard	標準 モードを選択します。
Sports	スポーツ モードを選択します。
Eco Mode	Eco モードを選択します。
Movie	映画 モードを選択します。
User	ユーザー設定 1 または ユーザー設定 2 モードを選択します。

リモコンの有効範囲

リモコンを確実に操作するためには、次の手順に従ってください。

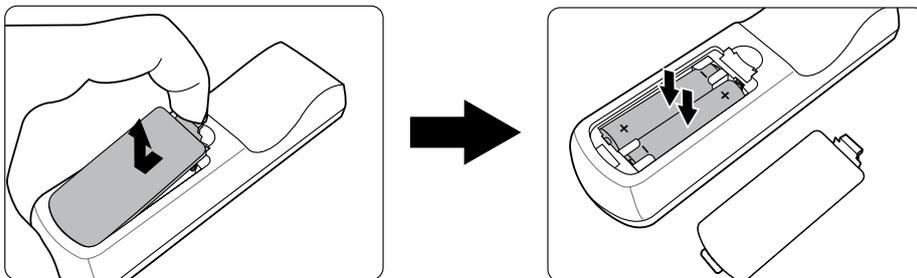
1. リモコンは本機の IR リモコンセンサーに対して垂直に 30° 以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。
2. リモコンとセンサーの距離は、8メートル以内でなければなりません。

注意事項： 赤外線 (IR) リモコンセンサーの位置については、右図をご覧ください。



リモコンの電池の交換

1. リモコンの裏面にある窪みを押して電池カバーをスライドさせると、電池カバーが外れます。
2. 古い電池を取り外してから、新しい2本の単4電池を取り付けます。
注意事項： 電池の極性に注意してください。
3. 電池カバーを電池スロットに合わせて押し込み、元の位置に戻します。



注意事項：

- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- 使用済みの電池は、お住まいの国や地域の環境規制に従って処分してください。

初期設定

ここでは、本機のセットアップについて説明します。

設置場所の選択 - 投影方向

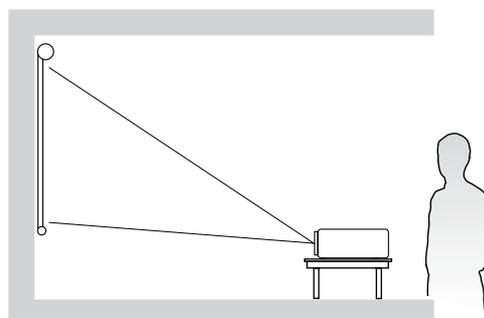
お好みや部屋のレイアウトに応じて設置場所を決めてください。次の点に配慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- コンセントの位置。
- 本機とその他の機器の間の位置と距離。

本機は次のような設置状態で使うことができます。

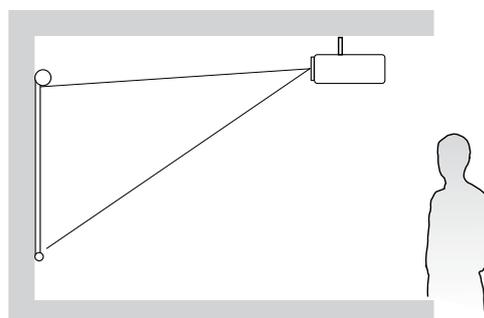
1. フロント投映

プロジェクターをスクリーン正面の床面近くに設置します。これが最も一般的な設置です。



2. 天吊正面

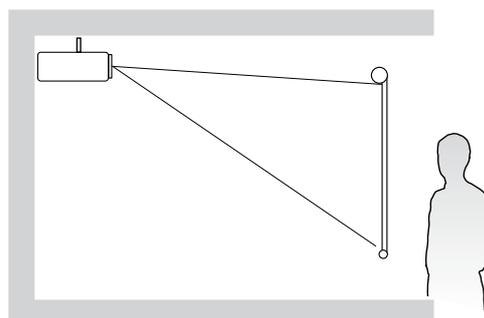
プロジェクターを上下逆さにスクリーン正面の天井に取り付けます。プロジェクター天井取り付けキットが必要です。



3. 天吊背面

プロジェクターを上下逆さにスクリーン背面の天井に取り付けます。プロジェクター天井取り付けキットが必要です。

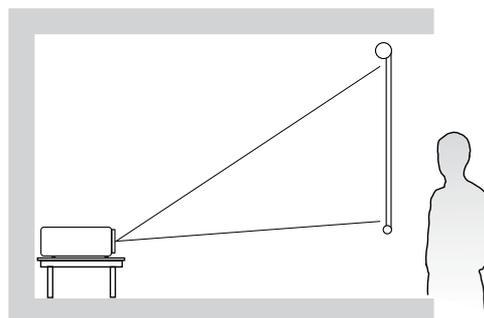
注意事項： 専用の背面投写用スクリーンが必要です。



4. リア投映

プロジェクターをスクリーン背面の床面近くに設置します。

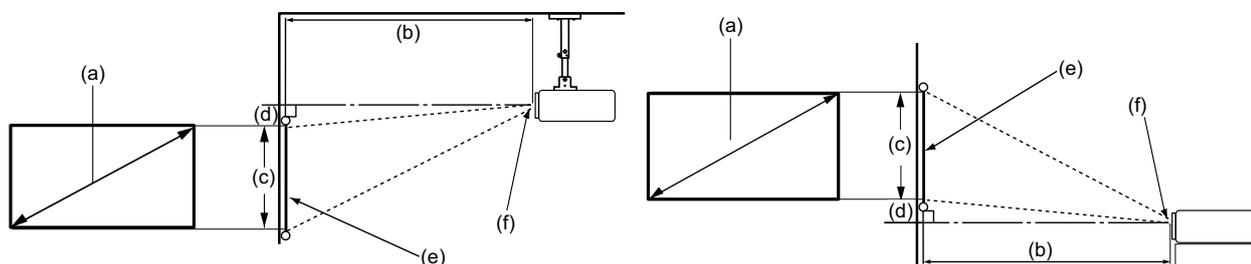
注意事項： 専用の背面投写用スクリーンが必要です。



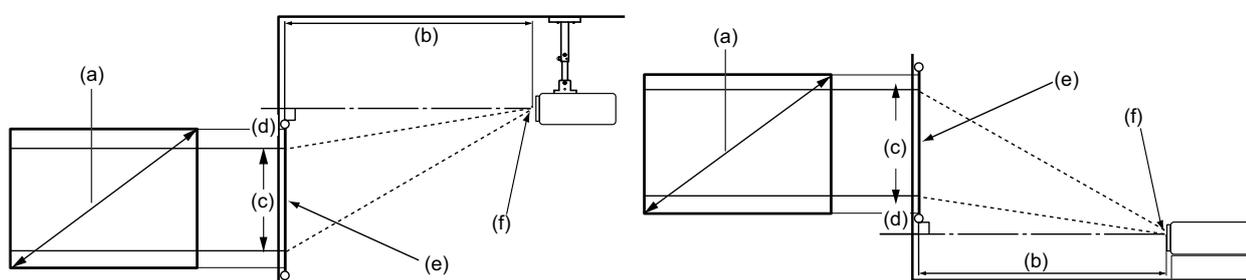
投写サイズ

注意事項： 本機のネイティブ解像度については、57ページの「仕様」を参照してください。

• 16:9 スクリーンの 16:9 画像



• 4:3 スクリーンの 16:9 画像



注意事項： (e) = スクリーン
(f) = レンズを中心

16:9 スクリーンの 16:9 画像

(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	59	1496.8	77	1945.9	29	747	2.9	74.7	2.9	74.7
70	1778	69	1746.3	89	2270.2	34	872	3.4	87.2	3.4	87.2
80	2032	79	1995.8	102	2594.5	39	996	3.9	99.6	3.9	99.6
90	2286	88	2245.3	115	2918.8	44	1121	4.4	112.1	4.4	112.1
100	2540	98	2494.7	128	3243.2	49	1245	4.9	124.5	4.9	124.5
110	2794	108	2744.2	140	3567.5	54	1370	5.4	137.0	5.4	137.0
120	3048	118	2993.7	153	3891.8	59	1494	5.9	149.4	5.9	149.4
130	3302	128	3243.2	166	4216.1	64	1619	6.4	161.9	6.4	161.9
140	3556	138	3492.6	179	4540.4	69	1743	6.9	174.3	6.9	174.3
150	3810	147	3742.1	192	4864.7	74	1868	7.4	186.8	7.4	186.8
160	4064	157	3991.6	204	5189.1	78	1992	7.8	199.2	7.8	199.2
170	4318	167	4241.1	217	5513.4	83	2117	8.3	211.7	8.3	211.7
180	4572	177	4490.5	230	5837.7	88	2241	8.8	224.1	8.8	224.1
190	4826	187	4740.0	243	6162.0	93	2366	9.3	236.6	9.3	236.6
200	5080	196	4989.5	255	6486.3	98	2491	9.8	249.1	9.8	249.1

4:3 スクリーンの 16:9 画像

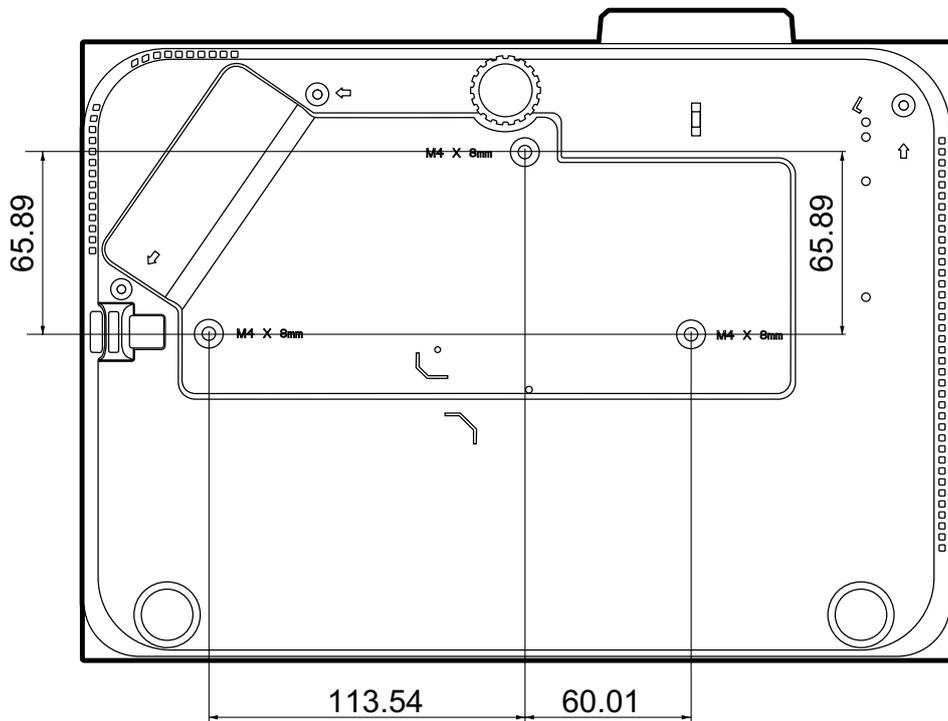
(a) スクリーンサイズ		(b) 投写距離				(c) 画像の高さ		(d) 縦オフセット			
		最小		最大				最小		最大	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
60	1524	54	1373.9	70	1786.1	27	686	2.7	68.6	2.7	68.6
70	1778	63	1602.9	82	2083.8	32	800	3.2	80.0	3.2	80.0
80	2032	72	1831.9	94	2381.5	36	914	3.6	91.4	3.6	91.4
90	2286	81	2060.9	105	2679.1	41	1029	4.1	102.9	4.1	102.9
100	2540	90	2289.9	117	2976.8	45	1143	4.5	114.3	4.5	114.3
110	2794	99	2518.9	129	3274.5	50	1257	5.0	125.7	5.0	125.7
120	3048	108	2747.8	141	3572.2	54	1372	5.4	137.2	5.4	137.2
130	3302	117	2976.8	152	3869.9	59	1486	5.9	148.6	5.9	148.6
140	3556	126	3205.8	164	4167.6	63	1600	6.3	160.0	6.3	160.0
150	3810	135	3434.8	176	4465.2	68	1715	6.8	171.5	6.8	171.5
160	4064	144	3663.8	188	4762.9	72	1829	7.2	182.9	7.2	182.9
170	4318	153	3892.8	199	5060.6	77	1943	7.7	194.3	7.7	194.3
180	4572	162	4121.8	211	5358.3	81	2057	8.1	205.7	8.1	205.7
190	4826	171	4350.7	223	5656.0	86	2172	8.6	217.2	8.6	217.2
200	5080	180	4579.7	234	5953.6	90	2286	9.0	228.6	9.0	228.6

注意事項： 光学部品の偏差のため、これらの数字には 3% の公差があります。プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお勧めします。このように準備しておくことによって、プロジェクターを最適な位置に固定することができます。

プロジェクターの取り付け

注意事項： サードパーティの取り付けキットをご使用になる場合は、正しいサイズのネジをお使いください。ネジサイズは取り付けプレートの厚さによって決まります。

1. 最も安全に設置するためには、耐荷重はプロジェクター本体の 3kg 以上、M4 規格ネジに対応している天井取り付けキットをご使用ください。
2. 本機を取り付けるためのネジは、次の仕様を満たしている必要があります。
 - ネジタイプ：M4 x 8
 - ネジの最大長：8 mm



注意事項：

- 本機を熱源の近くに設置しないでください。
- 天井と床の間は 10 cm 程度の隙間を確保してください。

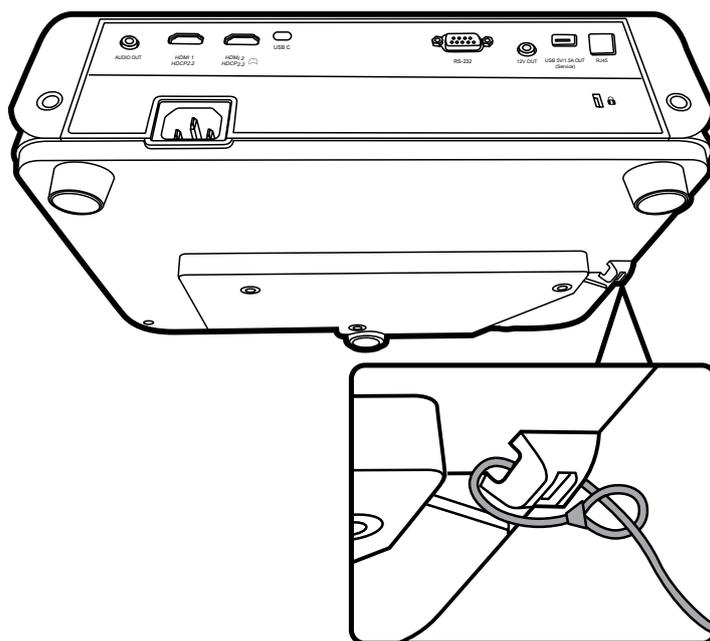
不正使用の防止

本機には盗難、不正使用、誤設定を防止するための機能がいくつか搭載されています。

セキュリティスロットの使い方

本機を盗難から守るために、本機を動かないものに固定するセキュリティスロットをお使いください。

下図はセキュリティスロットの使用例です



注意事項： 本機を天井に取り付けてある場合、セキュリティスロットは安全のための固定機能として使用することができます。

パスワード機能を使う

不正アクセスや不正使用を防止するために、本機にはパスワードオプションが搭載されています。パスワードは OSD メニューで設定できます。

注意事項： パスワードは書き留めておいて、安全な場所に保管しておいてください。

パスワードの設定

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定** を選択して **Enter** を押します。
2. **電源ロック** を選択し、**◀/▶** を押して **オン** を選択します。
3. 右図に示す通り、4 つの矢印キー（▲、▶、▼、◀）はそれぞれ4つの数字（1、2、3、4）を示しています。矢印キーを使って6桁のパスワードを設定してください。



4. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。パスワードの設定が完了すると、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューは**セキュリティ設定**ページに戻ります。
5. **Exit** を押して OSD メニューを閉じます。

注意事項： パスワードを設定した後は、本機を起動する度に正しいパスワードを入力する必要があります。

パスワードの変更

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定 > パスワードの変更**を選択します。
2. **Enter** を押すと、「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。
3. 古いパスワードを入力してください。
 - » パスワードが正しければ、「新しいパスワード」というメッセージが表示されます。
 - » パスワードを正しく入力しなければ、5 秒間パスワード エラーメッセージが表示され、続いて「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。入力し直してください。キャンセルする場合は **Exit** を押します。
4. 新しいパスワードを入力します。
5. 新しいパスワードを再度入力して新しいパスワードを確認してください。
6. OSD メニューを終了するには、**Exit** を押します。

注意事項： 入力した数字は画面上にはアスタリスク (*) で表示されます。

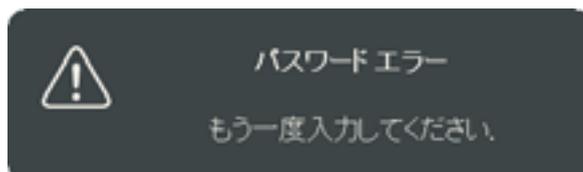
パスワード機能を無効にする

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > セキュリティ設定 > 電源ロック**を選択します。
2. **◀/▶** を使って**オフ**を選択します。
3. すると「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。
 - » パスワードが正しく入力された場合は、**電源ロック**の欄が「**オフ**」の状態にパスワードページに戻ります。
 - » パスワードを正しく入力しなければ、5 秒間パスワード エラーメッセージが表示され、続いて「現在のパスワード」というメッセージが表示されます。入力し直してください。キャンセルする場合は **Exit** を押します。

注意事項： 古いパスワードは、パスワード機能を再度有効にするときに必要ですので記録しておいてください。

パスワードを忘れた場合

パスワード機能を有効にすると、プロジェクターをオンにするたびに6桁のパスワードを入力するよう要求されます。間違ったパスワードを入力すると、右図のようなパスワードエラーメッセージが5秒間表示され、次に「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。



やり直すことができます。パスワードを忘れた場合は、「パスワード呼び出し手順」を行ってください。

注意事項：パスワード入力続けて5回間違えると、本機は間もなく自動的にシャットダウンします。

パスワード呼び出し手順

1. 「現在のパスワード」というメッセージが表示されたら、3秒間 **Auto Sync** を押し続けてください。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。
2. 番号を書き留めて、プロジェクターをオフにしてください。
3. 番号をデコードするには、ViewSonic® カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクターを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。



コントロールキーをロックする

プロジェクターのコントロールキーをロックしておくこと、（例えばお子様によって）本機の設定が誤って変更されるのを防止することができます。

注意事項： コントロールボタンロックがオンになっているときには、本機のコントロールキーは電源を除き、どれも作動しません。

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**システム > コントロールボタンロック** を選択します。
2. **▲/▼** を押して **オン** を選択します。
3. **はい** を選択して、**Enter** を押して確定します。
4. コントロールボタンロックを解除するには、本機の **▶** を 3 秒間押します。

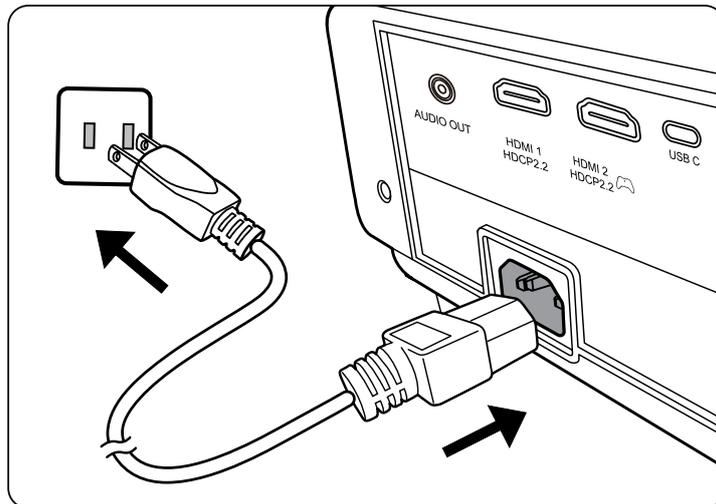
注意事項： リモコンを使って **システム > コントロールボタンロック** メニューに入り、**オフ** を選択します。

接続

ここでは、本機と他の装置の接続方法について説明します。

電源に繋ぐ

1. 本機の背面にある AC 電源入力ソケットに電源コードを接続します。
2. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



注意事項： 本体を取り付ける際は、プラグが外してあるデバイスを固定配線に接続するか、または本体の近くにあり容易に手の届く場所にあるコンセントに接続してください。本体操作時にエラーが発生した場合は、コンセントから抜いたデバイス进行操作して電源をオフにするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

外付け機器への接続

HDMI 接続

HDMI ケーブルをビデオ機器の HDMI ポートに接続します。ケーブルのもう片端を本機の **HDMI 1** または **HDMI 2** ポートに接続します。

USB Type-C 接続

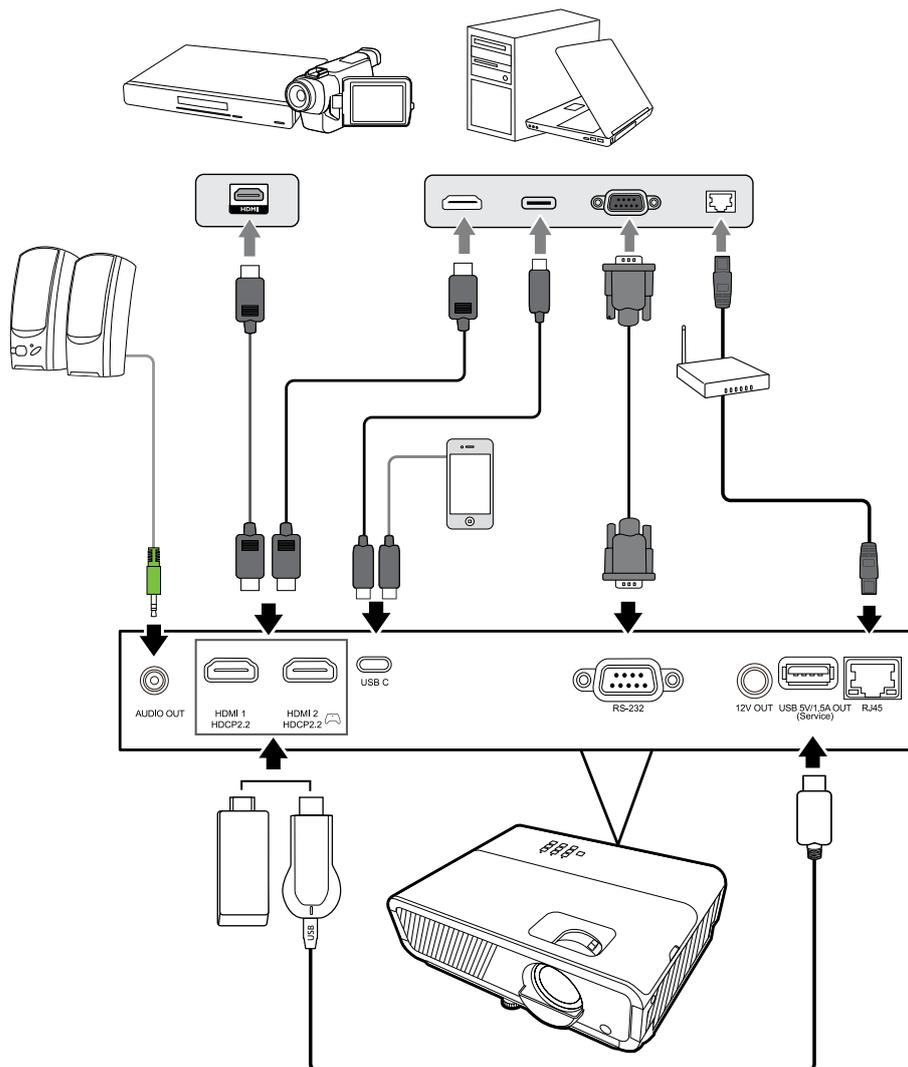
USB C ケーブルをビデオデバイスの USB C ポートに接続します。ケーブルのもう片端を本体の **USB C** ポートに接続します。

オーディオ接続

本機にはスピーカーが搭載されていますが、外部スピーカーを本機の **AUDIO OUT** ポートに接続することもできます。

注意事項： オーディオ出力は、本機の **音量** と **ミュート** 設定で制御します。

下のは参照用の接続例です。プロジェクターにある接続ジャックは、プロジェクターのモデルによって異なる場合があります。本機には含まれていないケーブルもあります。含まれていないケーブルは、別途ご購入ください。



プロジェクターの使用法

プロジェクターの電源をオン/オフにする

プロジェクターの起動

1. 本機の電源を入れるには、**電源ボタン**を押します。
2. 光源が点灯し、「**電源オン/オフお知らせ音**」が鳴ります。
3. 本機がオンになると、電源インジケータが緑色に点灯します。

注意事項：

- 本機が前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、光源に電力が供給されるまで約 90 秒間冷却ファンが作動します。
 - 光源の寿命を延長するには、本機の電源を入れた後は 5 分間待ってから電源を切ってください。
4. ゲーム機や PC など、接続した装置をオンにすると、本機が起動して入力
の検出を開始します。

注意事項： 本機が入力源を検出すると、ソース選択バーが表示されます。入力源が検出されない場合は、「信号なし」というメッセージが表示されます。

初めて起動する場合

初めて本機を起動する場合は、画面の指示に従って OSD 言語を選択してください。



プロジェクターをシャットダウンする

1. **電源**または**オフ**ボタンを押すと、**電源**または**オフ**ボタンを再度押すよう促す確認メッセージが表示されます。また、他のボタンをどれでも押すと操作がキャンセルされます。

注意事項：最初に押してから数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。

2. 冷却処理が完了したら、「**電源オン/オフお知らせ音**」が鳴ります。
3. 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。

注意事項：

- 光源を保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクターはいかなるコマンドにも反応しません。
- 本機のシャットダウンが完了するまでは、電源コードを抜かないでください。

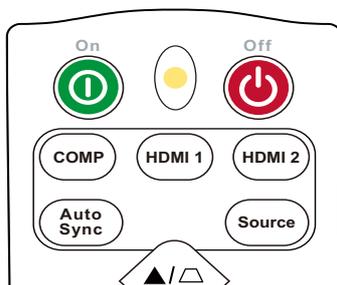
入力ソースの選択

本機には同時に複数の装置を接続することができます。ただし一度に表示できる装置は1台です。

本機に自動的に入力源を検出させるには、システムメニューで**クイック自動検索**機能が**オン**になっているか確認してください。



また、リモコンのソース選択ボタン1つを押して信号を手動で選択したり、使用可能な入力信号を切り替えることもできます。



入力源を手動で選択するには、次の手順に従ってください。

1. リモコンの **Source** ボタンを押すと、ソース選択メニューが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで ▲/▼ を押し、次に **Enter** を押します。
3. 信号が検出されたら、選択したソース情報が画面に数秒間表示されます。

注意事項： 本機に複数のデバイスが接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。

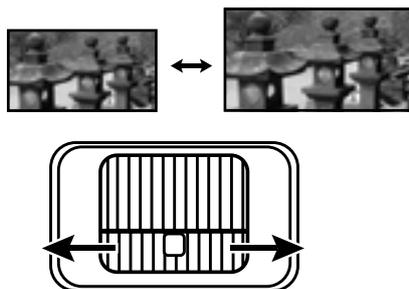
投写画像の調整

高さ調整と投写角度の調整

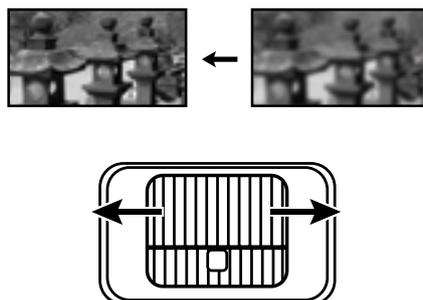
本機には高さ調整用脚が1個付いています。高さ調整用脚を調節すると、本機の高さと縦投写角度も変わります。投写画像の位置を調整するためには、高さ調整用脚をゆっくりと調整します。

画像サイズと明瞭さの微調整

投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。



画像のピントを調整するには、フォーカスリングを使用します。

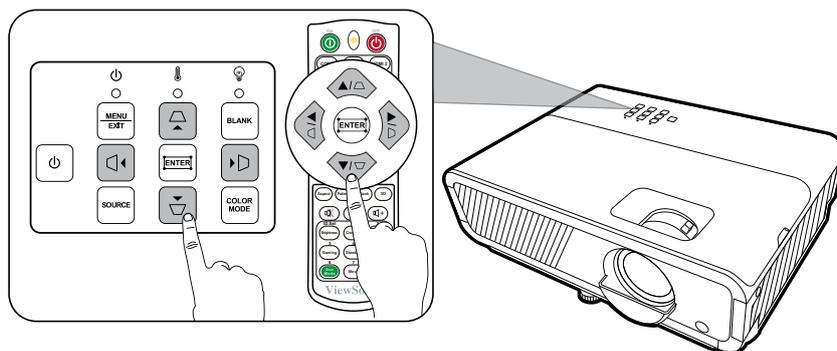
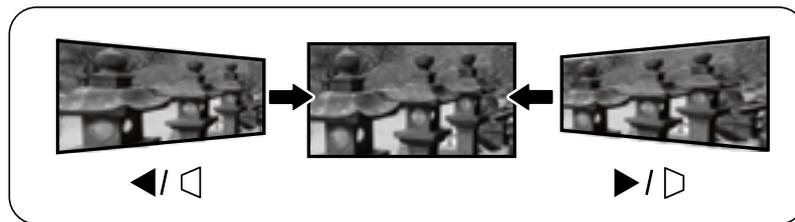
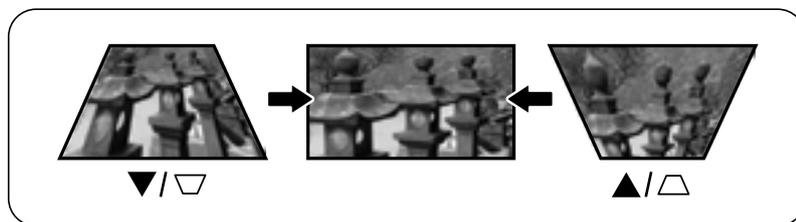


台形補正

台形補正とは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまいう状態のことです。

これを修正するには、本機の高さを調整するほか、次のいずれかを行うこともできます。

1. プロジェクターまたはリモコンの台形補正ボタンを使って台形補正ページを表示します。
2. 台形補正ページが表示されたら、▽を押して画像上部の台形歪みが補正されます。△を押すと、画像の下部の台形歪みが補正されます。◁を押すと、画像の下部の台形歪みが補正されます。▷を押すと、画像の右側の台形歪みが補正されます。◀を押すと、画像の左側の台形歪みが補正されます。



4 隅の調整

すべての辺が均等でない画像の形状とサイズを手動で調整することができます。

1. **四隅の調整**ページを開くには、次のいずれかの方法があります。

- **□**を押します。
- OSDメニューを開き、**表示 > 四隅の調整**メニューを選択して**Enter**を押します。すると、**四隅の調整**ページが表示されます。



2. **▲/▼/◀/▶**を使って調整したい角を選択し、**Enter**を押します。

3. **◀/▶**を押して用途に応じた調整方法を選択し、**Enter**を押します。

4. スクリーンに示されたとおり（45度に調整するには**▲/▼**、90度に調整するには**▲/▼/◀/▶**）、**▲/▼/◀/▶**を押すと形状とサイズが調整されます。**Menu**または**Exit**を押すと、前のステップに戻ります。**Enter**を2秒間長押しすると、選択したい角の設定がリセットされます。

選択した角が示されます。



注意事項：

- 台形補正を行うと、**四隅の調整**設定がリセットされます。
- **四隅の調整**設定を調整した後は、アスペクト比またはタイミングが使用できなくなる場合があります。その場合は、4隅全部の設定をリセットしてください。

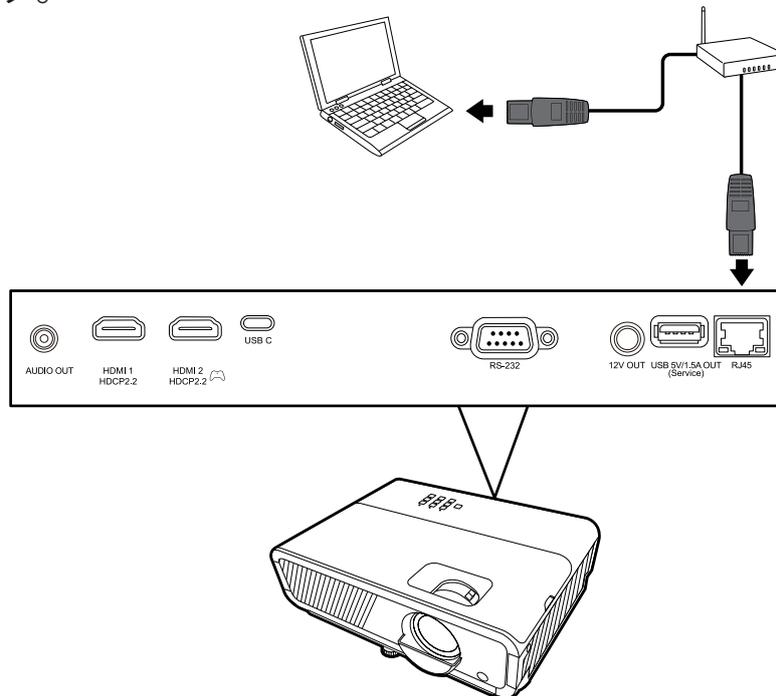
画像を非表示にする

プロジェクターリモコンの**Blank**を押すとスクリーンの画像が消えるため、聴衆の関心をすべて講演者に向けることができます。プロジェクターまたはリモコンのキーをどれでも押すと、画像を再開することができます。

注意事項： 投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し変形したり、火災の原因となり危険です。

LAN 環境でプロジェクターを操作する

本機は Crestron® ソフトウェアに対応します。LAN 制御設定メニューの正しい設定を使うと、コンピューターとプロジェクターが同じ LAN に接続されている場合は、ウェブブラウザでコンピューターからプロジェクターを管理することができます。



LAN 制御設定の構成

- DHCP 環境の場合：
 1. RJ45 ケーブルでプロジェクターの RJ45 LAN 入力ジャックと RJ45 ポートを接続してください。
 2. OSD メニューを開き、**詳細設定 > LAN コントロール設定**メニューを選択してください。Enter を押すと **LAN コントロール設定**ページが表示されます。または、**Network** を押すと直接 **LAN コントロール設定**メニューを開くことができます。
 3. **LAN 設定**を選択し、◀/▶ を押して **DHCP オン**を選択してください。
 4. ▼ を押して **適用**を選択し、次に Enter を押してください。
 5. 15 - 20 秒ほどお待ちになると、**LAN 設定**ページが再度開きます。すると **プロジェクタの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー設定**が表示されます。プロジェクタの IP アドレス列に表示される IP アドレスを書き留めておいてください。

注意事項：

- それでも **プロジェクタの IP アドレス**が表示されない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- RJ45 ケーブルが正しく接続されていない場合は、**プロジェクタの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー設定**は 0.0.0.0 と表示されます。ケーブルが正しく接続されており、上記の手順を再度確認してください。

- スタンバイモードでプロジェクターに接続する必要がある場合は、**詳細設定 > LAN コントロール設定**メニューで **LAN コントロールスタンバイ**をオンに設定します。

- 非 DHCP 環境の場合：

1. 上記の 1-2 のステップの手順に従ってください。
2. **LAN 設定**を選択し、◀/▶を押して**静止 IP**を選択してください。
3. ITS 管理者から**プロジェクタの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー設定**などの情報を取得してください。
4. 調整したいアイテムを選択し、**Enter**を押します。
5. ◀/▶を押してカーソルを動かし、▲/▼を押して値を入力します。
6. 設定を保存するには、**Enter**を押します。設定を保存しない場合は、**Exit**を押します。
7. ▼を押して**適用**を選択し、次に **Enter** を押してください。

注意事項：

- RJ45 ケーブルが正しく接続されていない場合は、**プロジェクタの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー設定**は 0.0.0.0 と表示されます。ケーブルが正しく接続されており、上記の手順を再度確認してください。
- プロジェクターをスタンバイモードで接続したい場合は、**静止 IP**を選択し、プロジェクターがオンのときに**プロジェクタの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー情報**を取得してください。

OSD メニュー機能

ここでは、OSD メニューとそのオプションについて説明します。

一般的な OSD メニューの操作

注意事項： 本書に掲載される OSD のスクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。次の OSD 設定の一部はご使用いただけない場合があります。プロジェクターの OSD をご参照ください。

本機には各種調整や設定が行える、OSD メニューが備わっています。プロジェクターからリモコンの **Menu** を押すと表示されます。



1. ◀/▶ を押して、メインメニューを選択します。次に、Enter を押すか、▲/▼ を使ってサブメニューリストを開きます。
2. ▲/▼ を押して、メニュー項目を選択します。次に、Enter を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。

注意事項： サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、Enter を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

OSD メニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
表示	アスペクト比	自動	
		4:3	
		16:9	
		16:10	
		2.35:1	
		ネイティブ	
	台形補正	自動垂直台形補正	オフ / オン
		手動	垂直
			水平
			回転
	四隅の調整	右上	45°/90°
		左上	45°/90°
		右下	45°/90°
		左下	45°/90°
	ワープ	有効	オフ / オン
		操作方式	OSD
			RS232
		ワープ調整	
		リセット	
	ズーム	0.8X ~2.0X	
	オーバースキャン	オフ /1/2/3/4/5	

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
画像	カラーモード	明るい			
		スポーツ			
		標準			
		ゲーム			
		映画			
		ユーザー設定 1			
		ユーザー設定 2			
	輝度	0~100			
	コントラスト	-50~50			
	色温度	9500K/8500K/7500K/6500K/5500K			
		赤ゲイン	0~100		
		緑ゲイン	0~100		
		青ゲイン	0~100		
		赤オフセット	-50~+50		
		緑オフセット	-50~+50		
		青オフセット	-50~+50		
	詳細設定	色	-50~50		
		シャープネス	0~31		
		ガンマ調整	1.8/2.0/2.2/2.35/ 2.5/ キュービック / sRGB		
		Brilliantcolor	オフ /1/2/3/4/ 5/6/7/8/9/10		
		カラーマネージメント	原色		
			色相		
			彩度		
			ゲイン		
	サイレンスモード	オン			
		オフ			
	カラー設定をリセット	リセット			
キャンセル					

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
電源管理	自動電源オン	信号	無効 / HDMI	
		CEC	無効 / 有効	
		ダイレクト電源オン	無効 / 有効	
	スマートエネルギー	オートパワーオフ	無効 / 10分 / 20分 / 30分	
		スリープタイマー	無効 / 30分 / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間 / 8時間 / 12時間	
		省電力モード	無効 / 有効	
	USB A 電源	オン		
		オフ		
基本設定	オーディオ設定	音楽 / スピーチ / 映画		
		ミュート	オフ / オン	
		音量	0~20	
		電源オン / オフお知らせ音	オフ / オン	
	プレゼンテーションタイマー	タイマーの時間	1~240分	
		タイマー表示	常に使用する / 1分 / 2分 / 3分 / 常に使用しない	
		タイマーの位置	左上 / 左下 / 右上 / 右下	
		タイマーのカウント方法	減少 / 増加	
		サウンドによる通知	オフ / オン	
		カウント開始 / オフ		
	パターン	オフ		
		テストカード		
	画面オフタイマー	無効 / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 25分 / 30分		
	メッセージ	オフ		
		オン		
	起動画面	黒		
		青		
		ViewSonic		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
詳細設定	3D 設定	3D モード	自動	
			フレームシーケンシャル	
			オフ	
		3D 逆同期	無効	
			逆転	
	HDMI 設定	HDMI フォーマット	自動 / RGB/YUV	
		HDMI 範囲	自動/拡張/ノーマル	
	LAN コントロール設定	LAN 設定	DHCP オン / 静止 IP	
		プロジェクトの IP アドレス		
		サブネットマスク		
		デフォルトゲートウェイ		
		DNS サーバー		
		LAN コントロールスタンバイ	オフ / オン	
		適用		
	HDR	HDR/HLG	自動 / SDR	
		EOTF	低 / 中 / 高	
	Ultra Fast Input	キャンセル		
		有効		
	光源の設定	光源モード	ノーマル / Eco / Dynamic Eco / SuperEco+	
		光源時間をリセット		
		光源時間情報	光源使用時間	
			ノーマル	
			Eco	
			Dynamic Eco	
			SuperEco+	
	最大寿命換算時間			
	設定をリセット	リセット		
キャンセル				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
システム	言語選択	多言語 OSD 選択		
	プロジェクターの 設置場所	フロント投映		
		リア投映		
		天吊背面		
		天吊正面		
	メニュー設定	メニュー表示時間	5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒	
		メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 左下 / 右下	
	高地モード	オフ		
		オン		
	クイック自動検索	オフ		
		オン		
	セキュリティ設定	パスワードの変更	オフ / オン	
		電源ロック		
	コントロールボタ ンロック	オフ		
		オン		
リモコンコード	1/2/3/4/5/6/7/8			
操作方式	RS-232			
	USB			
ボーレート	2400/4800/9600/14400/19200/ 38400/57600/115200			
インフォメーシ ョン	ソース			
	カラーモード			
	解像度			
	カラーシステム			
	IP アドレス			
	MAC アドレス			
	ファームウェアバ ージョン			
	Ultra Fast Input			
	シリアル番号			

表示メニュー

1. リモコンの **Menu** ボタンを押します。
2. ◀/▶ を押して、**表示**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**表示**を開きます。



3. ▲/▼ を押して、メニュー項目を選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。
- 注意事項：** サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
アスペクト比	<p>自動 イメージを本機本来の解像度の水平幅に合わせて表示します。これは入力イメージが 4:3 でも 16:9 でもなく、画像の縦横比を変えずにスクリーンを有効に活用したいときに便利です。</p> <p>4:3 スクリーンの中央が 4:3 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更せずにするため、ある種のコンピューターモニター、標準精度の TV、縦横比 4:3 の DVD ムービーなどの 4:3 イメージに適しています。</p> <p>16:9 スクリーンの中央が 16:9 の縦横比になるようにイメージを調整します。この設定は、縦横比を変更する必要がないため高精度 TV など、すでに縦横比が 16:9 になっているイメージに適しています。</p> <p>16:10 スクリーンの中央が 16:10 の縦横比になるようにイメージを調整します。これは縦横比を変更する必要のない、縦横比 16:10 の画像に適しています。</p> <p>2.35:1 画像の縦横比を維持しながら、スクリーンの中心が 2.35:1 になるように画像を調整します。</p> <p>ネイティブ イメージはその本来の解像度で投写され、表示エリアに合わせてリサイズされます。低解像度の入力信号の場合は、投写画像が本来のサイズで表示されます。</p>
台形補正	<p>台形補正とは、まっすぐに投写されなかったために、投写画像の上部または下部のいずれかが明らかに長くなってしまいう状態のことです。</p> <p>自動垂直台形補正 プロジェクターが垂直キーストーンを自動的に調整します。</p> <p>手動 垂直/水平歪みを調整したり、画像を回転させたりすることで、画像の歪みを手動で補正することができます。</p>
四隅の調整	<p>すべての辺が均等でない画像の形状とサイズを調整します。</p>

メニューオプション	説明
ワープ	<p>この機能は、円柱や球体など不均等な面に映像を写すとき、プロジェクター映像の幾何学的歪みを構成します。</p> <p>有効 台形補正および四隅の調整は、ワープが有効になっているときには使用できません。</p> <p>操作方式 ワープ調整の制御方法を選択できます。</p> <p>ワープ調整 この機能は、オンがワープ > 有効メニューで選択されているとき、OSD がワープ > 操作方式メニューで選択されている場合に使用することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▲/▼/◀/▶ を使ってカーソルを調整したいポイントに動かします。 Enter を押すと調整モードに入ります。 ▲/▼/◀/▶ を使って、x 軸と y 軸でポイントをシフトさせます。 Menu を押すと調整モードを終了します。 ステップ 1 から 4 を繰り返して、画像が正しく表示されるまで他のポイントも調整します。 Menu/Exit を押すとこの機能を終了します。 <p>リセット ワープメニューの設定を初期値に戻します。</p>
ズーム	投写画像を拡大し、画像内をナビゲートできます。
オーバースキャン	<p>オーバースキャン率を 0 から 5 の範囲で調整します。</p> <p>注意事項： この機能はコンポジットビデオまたは HDMI 入力信号が選択されている場合にしか使用できません。</p>

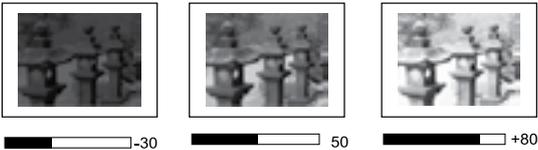
画像メニュー

1. リモコンの **Menu** ボタンを押します。
2. ◀/▶ を押して、**画像**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**画像**を開きます。



3. ▲/▼ を押して、メニュー項目を選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。

注意事項： サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
カラーモード	<p>明るい 投影画像の輝度を最大にします。このモードは非常に明るい環境、部屋に最適です。</p> <p>スポーツ 明るい環境でのスポーツ観戦向けに最適です。</p> <p>標準 一般的な環境で利用するときを選択します。</p> <p>ゲーム 明るいリビングでビデオゲームを楽しむのに最適です。</p> <p>映画 このモードはやや暗めの部屋で、PC入力を介してデジタルカメラやDVからカラームービーやビデオクリップを再生するのに適しています。</p> <p>ユーザー設定 1/ユーザー設定 2 カスタマイズした設定を呼び出します。ユーザー設定 1/ユーザー設定 2 を選択した後は、選択した入力信号に応じて画像メニューの中の一部のサブメニューを調整できるようになります。</p>
輝度	<p>値を高くするほどイメージの輝度が増加します。</p> <p>このオプションを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。</p> 
コントラスト	<p>輝度設定を以前に調整してある場合は、これを使ってピークホワイトレベルを設定します。</p> 
色温度	<p>色温度設定（<u>9500K</u>、<u>8500K</u>、<u>7500K</u>、<u>6500K</u>、<u>5500K</u>）がいくつかプリセットされています。環境によって最適な設定を選択できます。</p> <p>カスタム色温度を設定するには、次の項目を調整できます。</p> <p>赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン 赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。</p> <p>赤オフセット/緑オフセット/青オフセット 赤、緑、青の輝度レベルを調整します。</p>

メニューオプション	説明
詳細設定	<p>色 設定を下げると、彩度が低くなります。設定が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。</p> <p>シャープネス 値を高くすると画像がよりシャープになり、値を下げると画像はソフトなイメージになります。</p> <p>ガンマ調整 ガンマとは、本機のグレイスケールレベルの輝度レベルのことです。</p> <p>Brilliantcolor この機能は新しい色処理アルゴリズムとシステムレベルでの向上を利用して、投写映像によりリアルで鮮やかな色を提供すると共に、明るさをより高めることができます。ビデオや自然のシーンでよく見られる中間調イメージであれば、50%以上も輝度を上げることができますので、リアルで自然な色を再現することが可能です。高画質が必要な場合は、必要に応じてレベルを調整してください。</p> <p>カラーマネージメント 重役会議室、レクチャシアター、ホームシアターなど、照明レベルを調整できる場所に設置した場合に限り、カラーマネージメントが必要となります。カラーマネージメントを使用すると、色をより正確に再現するために、より詳細に色を調整することができます。先に原色を選択し、色相、彩度およびゲインで範囲/値を調整します。</p>
サイレンスモード	<p>騒音ノイズを最小化にします。プロジェクターのファンノイズを消して、非常に静かな環境で観たい映画に適しています。このモードを選択すると、XPRはオフになります（投写画像は自動的に1080p解像度に切り替わります）。</p>
カラー設定をリセット	<p>現在の画像設定を工場出荷時の値に戻します。</p>

電源管理メニュー

1. リモコンの **Menu** ボタンを押します。
2. ◀/▶ を押して、**電源管理**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**電源管理**を開きます。



3. ▲/▼ を押して、メニュー項目を選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。
- 注意事項：** サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
自動電源オン	<p>信号 VGA/HDMI を選択すると、VGA/HDMI ケーブルから VGA/HDMI 信号が入力されると、プロジェクターが自動的にオンになります。また、すべてを選択すると、VGA 信号か HDMI 信号を受信すると同時にプロジェクターが自動的にオンになります。</p> <p>CEC 本機は、HDMI 接続を介して電源のオン/オフ操作を同期できる CEC (Consumer Electronics Control) 機能に対応しています。つまり、CEC 機能に対応しているデバイスがプロジェクターの HDMI 入力に接続されていると、プロジェクターの電源を切ったときには、接続したデバイスの電源も自動的に切れます。接続してあるデバイスの電源を入れると、本機の電源も自動的に入ります。</p> <p>注意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> • CEC 機能を正常に機能させるには、HDMI ケーブルでデバイスを本機の HDMI 入力に正しく接続すると CEC 機能が有効になります。 • 接続したデバイスによっては、CEC 機能が作動しない場合があります。 <p>ダイレクト電源オン 電源コードから電源が供給されると、本機は自動的にオンになります。</p>
スマートエネルギー	<p>オートパワーオフ 指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要に光源の寿命を消耗しないように自動的に本機の電源をオフにします。</p> <p>スリープタイマー 指定した時間を経過したら、不要に光源の寿命を消耗しないように自動的に本機の電源をオフにします。</p> <p>省電力モード 入力源が検出されなければ、消費電力量は低減されます。有効を選択すると、5 分間信号が検出されなければ本機の光源モードは SuperEco+ モードに変わります。このことは、光源の寿命を延長するのにも役立ちます。</p>
USB A 電源	<p>オンにすると、USB Type A ポートは電力を供給し、操作方式が自動的に RS-232 に切り替わります。</p>

基本設定メニュー

1. リモコンの **Menu** ボタンを押します。
2. ◀/▶ を押して、**基本設定**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**基本設定**を開きます。



3. ▲/▼ を押して、メニュー項目を選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。

注意事項： サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
オーディオ設定	<p>オーディオコンテンツに応じて最も合ったオーディオモデルを選択しています。</p> <p>ミュート オンを選択すると、本機の内部スピーカー、またはオーディオ出力端子から出力されるボリュームが一時的にオフになります。</p> <p>音量 本機の内部スピーカーの音量レベル、またはオーディオ出力ジャックから出力される音量を調整します。</p> <p>電源オン/オフお知らせ音 起動時とシャットダウン時のリングトーンをオン/オフにします。</p>
プレゼンテーションタイマー	<p>プレゼンテーションタイマーはプレゼンテーション時間をスクリーン上に表示して、発表者が上手く時間管理できるようにします。</p> <p>タイマーの時間 時間範囲を設定します。すでにタイマーがオンになっている場合は、タイマーの時間をリセットするとタイマーがカウントを新しく開始します。</p> <p>タイマー表示 次の時間範囲で画面にタイマーを表示できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> » 常に使用する：プレゼンテーション中、常にタイマーをスクリーン上に表示します。 » 1分/2分/3分：タイマーを最後の1/2/3分間だけ表示します。 » 常に使用しない：プレゼンテーション中、タイマーを表示しません。 <p>タイマーの位置 タイマーの位置を設定します。</p> <p>タイマーのカウント方法 カウントする方向を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> » 減少：あらかじめ設定した時間から0までカウントダウンします。 » 増加：0からあらかじめ設定した時間までカウントを重ねます。 <p>サウンドによる通知 サウンドによる通知を有効にします。これを選択すると、カウントダウン/アップが残り30秒になるとビーッという音が2回鳴り、タイムアップすると3回鳴ります。</p> <p>カウント開始/オフ カウント開始を選択すると、タイマーが有効になります。オフを選択すると、キャンセルします。</p>

メニューオプション	説明
パターン	画像サイズとフォーカスを調整する、若しくは投影画像の歪みをチェックするためのテストパターン画像を表示します。
画面オフタイマー	<p>消画画面で何も操作が行われな いときには、一定時間が経過すると自動的にプロジェクターが画像を表示 します。消画状態にするには、プロジェクターリモコンの Blank ボタンを押します。</p> <p>注意事項： 投写中に投写レンズを他の物体で覆わ ないでください。その物体が過熱し変形した り、火災の原因となり危険です。</p>
メッセージ	アラームメッセージをオンまたはオフにします。
起動画面	起動時に表示されるロゴ画面を選択できます。

詳細設定メニュー

1. リモコンの **Menu** ボタンを押します。
2. ◀/▶ を押して、**詳細設定**メニューを選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**詳細設定**を開きます。



3. ▲/▼ を押して、メニュー項目を選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。
- 注意事項：** サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

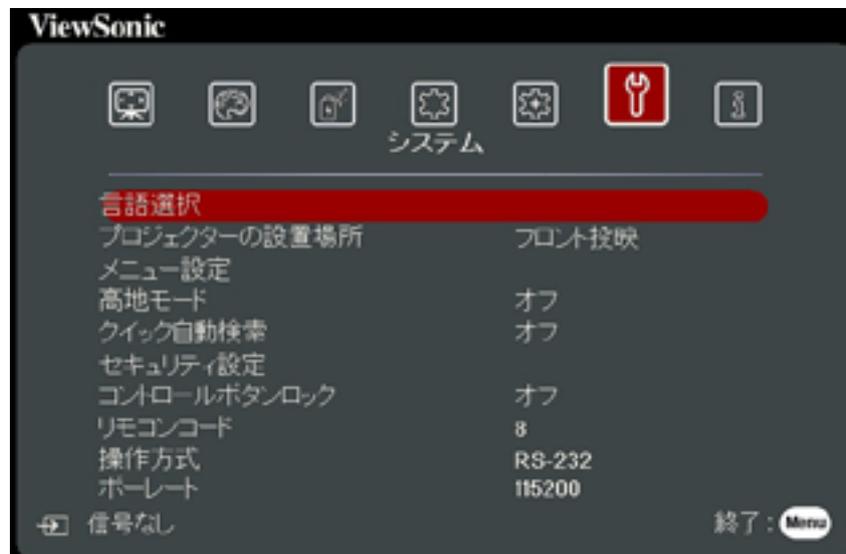
メニューオプション	説明
3D 設定	<p>本機には、画像に深みを与えることで3D映画、動画、スポーツイベントをよりリアルにご覧いただける3D機能が搭載されています。3D映像をご覧になるには、3Dメガネを着用する必要があります。</p> <p>3D モード デフォルト設定は自動で、3Dコンテンツが検出された場合は本機が自動的に適切な3Dフォーマットを選択します。</p> <p>3D 逆同期 画像の深さが逆転している場合は、この機能を有効にすると問題を解決できます。</p>
HDMI 設定	<p>HDMI フォーマット 接続した出力デバイスのカラースペース設定に基づいて、適切なカラースペースを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> » 自動：入力信号のカラースペース設定が自動的に検出されるようにプロジェクターを設定します。 » RGB：カラースペースをRGBに設定します。 » YUV：カラースペースをYUVに設定します。 <p>HDMI 範囲 接続した出力デバイスの色域設定に基づいて、適切なHDMI色域を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> » 自動：プロジェクターに入力信号のHDMI範囲を自動的に検出させます。 » 拡張：HDMIカラー範囲を0-255として設定します。 » ノーマル：HDMIカラー範囲を16-235として設定します。

メニューオプション	説明					
LANコントロール設定	<p>LAN 設定</p> <ul style="list-style-type: none"> » DHCP オン：DHCP 環境でプロジェクタのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバー設定が自動的に取得される場合は、これを選択してください。 » 静止 IP：非 DHCP 環境で、次の設定に調整した場合は、これを選択してください。 <table border="1" data-bbox="515 521 1471 752"> <tr> <td data-bbox="515 521 970 566">プロジェクタのIPアドレス</td> <td data-bbox="970 521 1471 752" rowspan="4">LAN 設定が静止 IP に設定されている場合にしか使用できません。◀/▶を使用して欄を選択し、▲/▼を使用して値を調整します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="515 566 970 611">サブネットマスク</td> </tr> <tr> <td data-bbox="515 611 970 656">デフォルトゲートウェイ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="515 656 970 752">DNS サーバー</td> </tr> </table> <p>LAN コントロールスタンバイ プロジェクターがスタンバイモードのときには、ネットワーク機能を提供しません。</p> <p>適用 設定を有効化します。</p>	プロジェクタのIPアドレス	LAN 設定が静止 IP に設定されている場合にしか使用できません。◀/▶を使用して欄を選択し、▲/▼を使用して値を調整します。	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	DNS サーバー
プロジェクタのIPアドレス	LAN 設定が静止 IP に設定されている場合にしか使用できません。◀/▶を使用して欄を選択し、▲/▼を使用して値を調整します。					
サブネットマスク						
デフォルトゲートウェイ						
DNS サーバー						
HDR	<p>HDR/HLG 本機は、HDR 入力源に対応しています。これは入力源のダイナミックレンジを自動的に検出し、広範囲の照明状況で映像を再現できるように画像ガンマ値およびカラー設定を最適化します。SDR も選択できます。</p> <p>EOTF プロジェクターは、入力源に応じて映像の輝度レベルを自動調整できます。通常は、デフォルト値「中」を推奨します。投写画像が暗い場合は、「低」を選択してください。グラデーションのプロパティが優先する場合は、「高」を選択してください。</p>					
Ultra Fast Input	<p>Ultra Fast Input 機能を活用すると、遅延なく正確なタイミングでコマンドを実行できますので、ゲーミングにおける全体的なプロジェクターの性能を向上させることが可能になります。</p> <p>有効にすると、次の設定が初期値に戻されます： ワープ、台形補正、四隅の調整、ズーム。</p> <p>注意事項： この機能は、ネイティブの4K タイミング入力信号または 1080P が選択されている場合にしか使用できません。</p>					

メニューオプション	説明
光源の設定	<p>光源モード</p> <ul style="list-style-type: none"> » ノーマル：光源を完全に明るくします。 » Eco：光源の電力消費量を最大で 30% も低減し、輝度を下げて光源の寿命を延長させるだけでなく、ファンのノイズも低減させます。 » Dynamic Eco：コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 70% 節電できます。 » SuperEco+：光源の電力消費量を最大で 55% も低減し、輝度を下げて光源の寿命を延長させるだけでなく、ファンのノイズも低減させます。 <p>注意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 光源温度を調整するには、光源モードを SuperEco+ に設定すると Eco モードが 4 時間毎に 10 分間オンになります。 • カラーモードおよびカラー設定をリセットは、光源モードが SuperEco+ に設定されている場合には使用できなくなります。 <p>光源時間をリセット</p> <p>新しい光源に交換した後は、光源タイマーをリセットします。光源を交換する場合は、ViewSonic カスタマサポートセンターにお問い合わせください。</p> <p>光源時間情報</p> <ul style="list-style-type: none"> » 光源使用時間：光源の使用時間数を表示します。 » 最大寿命換算時間：光源寿命が表示されます。光源時間の計算方式は次のとおりです。 合計（相当）光源時間 = 4 x（ノーマルモードでの使用時間）+ 2 x（Eco モードでの使用時間）+ 1.67 x（Dynamic Eco モードでの使用時間）+ 1 x（SuperEco+ モードでの使用時間）
設定をリセット	<p>すべての設定を工場出荷時の値に戻します。設定をリセットを使用すると、次の設定は現在の設定値のまま維持されます：言語選択、プロジェクターの設置場所、高地モード、セキュリティ設定、リモコンコード、3D 設定、四隅の調整、台形補正、ボーレート、ワープ、操作方式、USB A 電源。</p>

システムメニュー

1. リモコンの **Menu** ボタンを押します。
2. ◀/▶ を押して、**システムメニュー**を選択します。次に、**Enter** を押すか、▲/▼ を使って**システム**を開きます。



3. ▲/▼ を押して、メニュー項目を選択します。次に、**Enter** を押してそのサブメニューを表示します。または、◀/▶ を押して設定を調整/選択します。
- 注意事項：** サブメニュー オプションの中には、別のサブメニューもあります。それぞれのサブメニューを開くには、**Enter** を押します。設定を調整/選択するには、▲/▼ または ◀/▶ を使います。

メニューオプション	説明
言語選択	本機の OSD メニューの表示言語を設定します。
プロジェクターの設置場所	正しい画像を投影するように、現在お使っている本機の設置方式を選択します。
メニュー設定	<p>メニュー表示時間 最後に操作が行われてから OSD が表示され続ける時間を設定します。</p> <p>メニュー位置 OSD メニューの位置を選択します。</p>
高地モード	<p>海拔 1501 m ~ 3000 m、気温 0°C ~ 30°C の環境で本製品を使用する場合は、高地モードを使用されるようお勧めします。</p> <p>注意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 から 1500 m、気温 0°C ~ 35°C の環境では高地対応モードはご使用にならないでください。このような環境で高地対応モードを使用すると、本機が過冷却されてしまいます。 「高地モード」では冷却と性能を高めるために、ファンの回転速度が早くなるためノイズが高くなります。
クイック自動検索	本機に信号を自動検出させることができます。
セキュリティ設定	詳細は、19 ページの「パスワード機能を使う」を参照してください。
コントロールボタンロック	本機のコントロールボタンをロックします。
リモコンコード	<p>本機のリモコンコードを設定します (1~8)。本機が同時に数台接続されている場合は、コードを切り換えると他のリモコンの干渉を受けません。リモコンコードを設定したら、このリモコンと同じ ID に切り換えると本機を操作できます。</p> <p>リモコンのコードを切り換えるには、ID set とリモコンコードの番号ボタンを同時に 5 秒以上押します。初期コードは 1 に設定されています。コードを 8 に切り替えると、リモコンで各プロジェクターを操作することができます。</p> <p>注意事項： プロジェクターとリモコンに別のコードが設定されている場合は、リモコンからの応答はありません。そのような場合は、リモコンのコードを切り換えるように促すメッセージが表示されます。</p>

メニューオプション	説明
操作方式	制御ポートを選択できます。RS-232 ポートまたは USB ポートを使用できます。USBを選択すると、USB A 電源は自動的にオフに切り替わります。
ボーレート	適切な RS-232 ケーブルを使って本機をコンピューターに接続し、RS-232 コマンドで本機を操作できるように、ボーレートはコンピューターと同じ値に設定してください。

インフォメーションメニュー

1. リモコンの **Menu** ボタンを押します。
2. ◀/▶ を押してインフォメーションメニューを開くと、その内容が表示されます。



メニューオプション	説明
ソース	現在の入力ソースを表示します。
カラーモード	画像メニューで選択したモードを表示します。
解像度	入力ソースのネイティブ解像度を表示します。
カラーシステム	入力システムフォーマットを表示します。
IP アドレス	プロジェクターの IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	プロジェクターの MAC アドレスを表示します。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
Ultra Fast Input	機能がアクティブかどうかを表示します。
シリアル番号	プロジェクターのシリアル番号を表示します。

付録

仕様

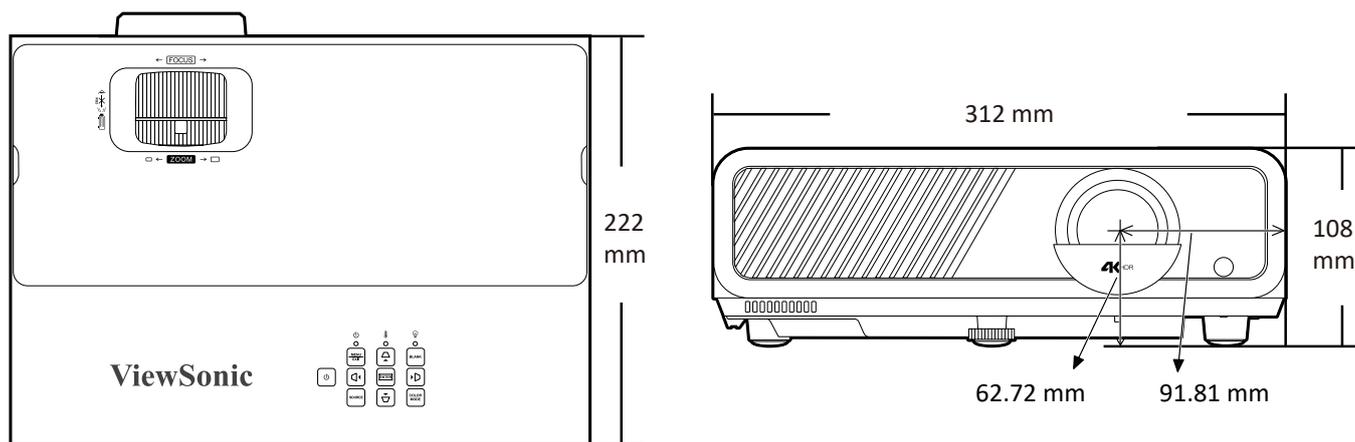
アイテム	カテゴリー	仕様
プロジェクター	タイプ	DLP ランプ
	画面サイズ	30"~300"
	輝度	4,000 ANSI ルーメン
	投写率	1.13~1.47 (95" ±3% @ 2.37m)
	レンズ	光学ズーム 1.3x ±2%
	光源タイプ	UHP 240W E20.7i
	ディスプレイシステム	1-CHIP DMD
入力信号	HDMI	f _h : 15K~135KHz、f _v : 23~240Hz、 最大ピクセルレート : 600MHz
	USB C	
解像度	ネイティブ	3840 x 2160
電源アダプター ¹	入力電圧	AC 100-240 V、50/60 Hz (自動切替)
操作条件	温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
	湿度	0% ~ 90% (結露なきこと)
	高度	0 ~ 1,500 m (0°C ~ 35°C) 1,501 ~ 3,000 m (0°C ~ 30°C)
保管条件	温度	-20°C ~ 60°C (結露なきこと)
	湿度	0% ~ 90% (結露なきこと)
	高度	0 ~ 1,219 m (-20°C ~ 30°C)
外形寸法	本体 (W x H x D)	312 x 108 x 222 mm
重量	本体	3.0 kg
消費電力	オン ²	380W (最大) 310W (標準)
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)

¹ ViewSonic® 製または認定されたメーカーのアダプター以外はご使用にならないください。

² テスト条件は EEI 基準に準拠しています。

本機サイズ

312 mm (幅) x 108 mm (高さ) x 222 mm (奥行き)



タイミングチャート

HDMI/USB C (PC)			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	4:3	60/72/75/120
SVGA	800 x 600	4:3	60/72/75/120
XGA	1024 x 768	4:3	60/70/75/120
	1152 x 864	4:3	75
HD	1280 x 720	16:9	60/120
WXGA	1280 x 768	15:9	60
	1280 x 800	16:10	60/75/120
	1366 x 768	16:9	59.7
Quad-VGA	1280 x 960	4:3	60
SXGA	1280 x 1024	5:4	60/75
SXGA+	1400 x 1050	4:3	60
WXGA+	1440 x 900	16:10	60
UXGA	1600 x 1200	4:3	60
WSXGA+	1680 x 1050	16:10	60
WUXGA	1920 x 1200	16:10	60
MAC 13"	640 x 480	4:3	67
MAC 16"	832 x 624	4:3	75
MAC 19"	1024 x 768	4:3	75
MAC 21"	1152 x 870	4:3	75
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	60/120/240
4K UHD	3840 x 2160	16:9	30/60

HDMI/USB C (ビデオ)			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
HDTV (4K)	3840 x 2160	16:9	24/25/30/50/60
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	24
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	50/60
HDTV (1080i)	1920 x 1080	16:9	50/60
HDTV (720p)	1280 x 720	16:9	50/60
SDTV (480p)	720 x 480	4:3/16:9	60
SDTV (576p)	720 x 576	4:3/16:9	50
SDTV (480i)	720 x 480	4:3/16:9	60
SDTV (576i)	720 x 576	4:3/16:9	50

3D (HDMI 信号を含む)			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
576p	720 x 576	16:9	60
480p	720 x 480	16:9	59.94
SVGA	800 x 600	4:3	60*/120*
XGA	1024 x 768	4:3	60*/120*
HD	1280 x 720	16:9	60*/120*
WXGA	1280 x 800	16:9	60*/120*
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	60

注: *50Hz、60Hz、120Hz 信号は、フレームシーケンシャルフォーマットに対応しています。

HDMI 3D			
信号	解像度 (ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)
フレームパッキング形式			
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60

トラブルシューティング

一般的な問題

ここでは、プロジェクターに関連する一般的に見られる問題について説明します。

問題	対策
プロジェクターの電源がオンにならない	<ul style="list-style-type: none">電源コードが正しくプロジェクターとコンセントに接続されているか確認してください。冷却処理が完了していない場合は、冷却処理が完了してから電源を入れなおしてください。それでも電源がオンにならない場合は、別のコンセントに接続してみるか、同じコンセントに別の電子機器を接続してみてください。
画像が映らない	<ul style="list-style-type: none">ビデオケーブルが正しく接続され、ビデオ入力源がオンになっているか確認してください。入力源が自動的に選択されない場合は、プロジェクターのリモコンの Source ボタンを使って正しい入力源を選択してください。
画像がぼける	<ul style="list-style-type: none">フォーカスリングを使用すると、投写レンズを正確に調整できます。プロジェクターとスクリーンを正しく揃えて設置してください。必要であれば、プロジェクターの高さと投写角度および方向も調整してください。
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none">リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認し、リモコンからプロジェクターまでの距離は8メートル以内であることを確認してください。電池が切れているかもしれません。確認の上、必要であれば交換してください。

LED インジケータ

ライト			状態と説明
			
電源			
緑に点滅	オフ	オフ	スタンバイモード。
緑	オフ	オフ	電源を入れています。
緑	オフ	オフ	通常動作状態です。
緑に点滅	オフ	オフ	通常の電源オフ冷却プロセスです。
赤	オフ	オフ	ダウンロード中。
緑	緑	緑	書き込みオフ。
光源			
緑に点滅	オフ	赤	冷却時の第一光源点灯エラー。
オフ	オフ	赤	通常動作時に光源エラー発生。
緑	オフ	赤	カラーホイールを開始できません。
加熱/冷却			
オフ	赤	オフ	ファン1エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	赤	ファン2エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オフ	赤	緑	ファン3エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
オレンジ色	赤	赤	温度1エラー（上限温度オーバー）。
オフ	緑	赤	ファンIC #1 I2C 接続エラー。

メンテナンス

全般的な注意

- プロジェクターの電源が切っており、コンセントから外してあることを確認してください。
- プロジェクターのパーツは絶対に取り外さないでください。プロジェクターのパーツの交換が必要な場合は、ViewSonic® または販売店にご相談ください。
- ケースにスプレーを吹き付けたり、液体を直接かけたりしないでください。
- プロジェクターの取り扱いにはご注意ください。暗い色のプロジェクターについての傷は、明るい色のプロジェクターよりも目立ちます。

レンズのお手入れ

- 圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。
- 汚れやしみが落ちない場合は、レンズクリーニングペーパーまたはレンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。

注意：研磨剤でレンズをこすらないでください。

ケースのお手入れ

- 汚れやホコリは柔らかく、毛羽立ちのない乾いた布で拭き取ってください。
- それでも汚れが落ちない場合は、非アンモニア系、非アルコール系の研磨剤を含まない中性洗剤を清潔な毛羽立ちのない布に取り拭き取ってください。

注意事項：ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。

プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認します。
- 高さ調整用脚を完全におさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを元の梱包または同等の梱包にしまします。

おことわり

- ViewSonic® は、レンズやケースにアンモニア系またはアルコール系のクリーナーをご使用になることはお勧めしません。化学クリーナーによっては、レンズやケースが破損する場合がありますと報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニア系またはアルコール系のクリーナーを使用した結果生じた故障については一切責任を負いません。

光源について

ここでは、光源について説明します。

光源時間

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーが光源の使用時間（時間単位）を自動的に計算します。

光源の使用時間を知るには：

1. **Menu** を押して OSD メニューを開き、**詳細設定 > 光源の設定 > 光源時間情報** を選択します。
2. **Enter** を押すと、**光源時間情報** ページが表示されます。
3. **Exit** を押すと、メニューが閉じます。

光源の寿命を延長するには

光源の寿命をできるだけ長く維持するには、OSD メニューで次の設定を行ってください。

光源モードを設定

プロジェクターを **Eco**、**Dynamic Eco**、または **SuperEco+** モードに設定すると、システムノイズと電力消費量を低減させ、光源の寿命を延長できます。

光源モード	説明
ノーマル	光源を完全に明るくします。
Eco	光源の電力消費量を 30% 節電し、輝度を下げて、さらにファンのノイズも低減します。
Dynamic Eco	コンテンツの輝度レベルによっては、電力消費量を最大 70% 節電できます。
SuperEco+	光源の電力消費量を最大で 55% も低減し、輝度を下げて光源の寿命を延長させるだけでなく、ファンのノイズも低減させます。

光源モードを設定するには、OSD メニューを開き、**詳細設定 > 光源の設定 > 光源モード** を選択します。次に、◀/▶ を押して **Enter** を押します。

オートパワーオフを設定

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

OSD メニューを開き、**電源管理 > スマートエネルギー > オートパワーオフ** を選択します。次に、◀/▶ を押して時間を無効にするか、調整します。

光源交換タイミング

光源インジケータライトが点灯したら、新しい光源に交換するか、販売店にお問合せください。

注意：古い光源を使用すると、プロジェクターの誤動作の原因となり、光源が破裂することもあります。

光源の交換

光源を交換する場合は、一旦電源を切り、コンセントからプロジェクターを外した上で、ViewSonic カスタマサポートセンターにお問合せください。

規制および保証情報

コンプライアンス情報

ここでは、関連する要件や規制に関する声明について説明します。正確な用途は、ネームプレートのラベルおよび本体に表記されるマーク等をご確認ください。

FCC 準拠宣言

本製品は、FCC 規定の第 15 条に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。(1) 電波障害を起こさないこと (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、クラス B デジタル機器の制限に従っています。

これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしてください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあげる。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- ディーラーか経験のあるラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

警告: コンプライスに責任を持つ団体が認めない改造や変更を行うと、本機を操作する権利が失効します。

カナダ産業省の声明

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

ヨーロッパ諸国における CE 準拠



本機は EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠します。

以下は、ヨーロッパ連合加盟国のための情報です。

右に示すマークは、WEEE 指令 2012/19/EU に準拠していることを意味します。マークは本機を無分別ゴミとして処理するのではなく、お住まい地域の条例に基づいて廃棄する必要があることを示しています。



RoHS2 準拠宣言

本機は、電気電子機器 (RoHS2 指令) における特定の有害物質の使用に関する制限にかかる欧州議会・理事会指令 2011/65/EU に準拠して設計、製造されており、以下に示すとおり欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する最大濃縮率に準拠しています。

物質	最高濃度案	実際の濃度
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
六価クロム (Cr6+)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジエチルヘキシル (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ベンジルブチル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

前述の一部の製品部品は、下記のとおり RoHS2 指令の付録 III から除外されます。

- 特定用途における冷陰極蛍光管および外部電極蛍光管 (CCFL および EEFL) に含まれる下記の量を超えない水銀 (ランプ 1 個あたり) :
 - » 最短 (500 mm) : ランプあたり最大 3.5 mg。
 - » 中 (> 500 mm および 1,500 mm) : ランプあたり最大 5 mg。
 - » 最長 (1,500 mm) : ランプ当たり最大 13 mg。
- 陰極線管のガラス内に含まれる鉛。
- 蛍光管のガラス内に含まれる鉛が重量の 0.2% を超えないこと。
- アルミニウムに含まれる合金元素としての鉛が重量の 0.4% を超えないこと。
- 銅合金に含まれる銅が重量の 4% を超えないこと。
- 高融点タイプのはんだに含まれる銅 (重量の 85% 以上が銅の銅ベースの合金など)。
- 圧電性機器など、蓄電器の誘電体磁器以外のガラスまたは磁器に含まれる鉛を含む電気および電子部品、またはガラスや磁器マトリックス混合物。

著作権情報

Copyright© ViewSonic® Corporation, 2023。 All rights reserved。

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国およびその他の国における Microsoft 社の登録商標です。

ViewSonic® および 3 羽のトリのロゴは、ViewSonic® 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS および DDC は VESA の商標です。

おことわり： ViewSonic® Corporation は、本書の技術的または編集的ミスについて、また記載されないことについていかなる責任も負いません。さらに、本製品を使用した結果生じたあらゆる偶発的、結果的損害について、本製品の性能または使用に関しても一切責任を負いません。

今後も製品の向上を図るために、ViewSonic® Corporation は予告なく製品仕様を変更する権利を有しています。本書の内容は、将来予告なく変更される場合があります。

本書の一部または全部を ViewSonic® 社の文書による許可なく複製、再生、転送することはいかなる方法においても固く禁止します。

カスタマーサービス

技術サポート、製品サービスおよび保証範囲については、
下記ウェブサイトをご覧ください。

ViewSonic International ヘルプページ

製品サポート、修理、その他お問い合わせについては、
ViewSonic International カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
電話番号：050-5810-1535、平日：9時～18時

注意事項：製品のシリアル番号が必要です。



ViewSonic®